

第12期(平成29年3月期)  
決算説明資料

平成29年6月8日



阪神高速道路株式会社

# 当期連結決算の概要

当社グループの当期の連結業績は、営業収益 **2,496億円**（前年同期比▲72億円）、営業利益 **15億円**（前年同期比▲14億円）、経常利益 **18億円**（前年同期比▲15億円）、税金等調整前当期純利益**16億円**（前年同期比▲16億円）となりました。

また、翌期の厚生年金基金代行返上益の発生に伴う繰延税金資産を20億円計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は **30億円**（前年同期比+6億円）となりました。

事業別の業績等の概要は、次のとおりです。

## 高速道路事業

- ◆ 阪神高速道路の一日あたり平均通行台数が約75万台（前年同期比1.1%増）と増加したことにより、料金収入は1,732億円（前年同期比0.5%増）
- ◆ 道路資産完成高は626億円（前年同期比11.9%減）
- ◆ 道路資産賃借料は1,302億円（前年同期比0.4%増）
- ◆ この結果、営業収益は2,366億円（前年同期比3.1%減）  
営業費用は2,359億円（前年同期比2.5%減）  
営業利益は7億円（前年同期比67.5%減）  
となりました。

## 受託事業

- ◆ 国や地方公共団体等の委託に基づく道路の新設等の事業を受託したことにより、  
営業収益は65億円（前年同期比14.3%減）  
営業費用は66億円（前年同期比13.3%減）
- ◆ この結果、営業損失は74百万円（前年同期は営業利益9百万円）となりました。

## その他の事業

- ◆ 休憩施設の運営、駐車場施設の運営、発生土再生活用事業等を展開したことにより、  
営業収益は67億円（前年同期比30.6%増）  
営業費用は58億円（前年同期比33.4%増）
- ◆ この結果、営業利益は9億円（前年同期比15.2%増）となりました。

# 高速道路事業

単位：億円〔単位未満切捨て〕

## 主な増減内容

区 分		29年3月期	28年3月期	増減
営業収益	料金収入等	1,739	1,729	+10
	道路資産完成高(注)	626	711	▲85
		2,366	2,441	▲75
営業費用	道路資産賃借料	1,302	1,297	+5
	道路資産完成原価(注)	626	710	▲84
	管理費用	430	411	+18
		2,359	2,419	▲60
高速道路事業 営業利益		7	22	▲14

- 営業収益
  - ・ 通行台数は、一日当たり約75万台（前年同期比1.1%増）
  - ・ 料金収入は、通行台数増加の影響等により1,732億円（前年同期比8億円増）
  - ・ 道路資産完成高は、大和川線（三宝JCT～鉄砲）の開通により626億円（前年同期比85億円減）

- 営業費用
  - ・ 協定に基づく道路資産賃借料は、1,302億円（前年同期比5億円増）
  - ・ 管理費用は、点検補修の強化等により、430億円（前年同期比18億円増）

(注) 道路資産完成高とは、完成した道路資産の高速道路機構への引渡額をいい、道路資産完成原価とは、当該道路資産の建設に要した費用をいいます。

# 関連事業

## 主な増減内容

単位:億円〔単位未満切捨て〕

区 分		29年3月期	28年3月期	増減
受託事業	営業収益	65	76	▲ 10
	営業費用	66	76	▲ 10
	営業利益	▲ 0	0	▲ 0
その他の事業	営業収益	67	51	+ 15
	営業費用	58	43	+ 14
	営業利益	9	8	+ 1
関連事業 営業利益		8	8	+ 0

### ●受託事業

大阪府道高速大和川線に係る  
 工事出来高の減等により、  
 営業収益は65億円  
 (前年同期比10億円減)、  
 営業費用は66億円  
 (前年同期比10億円減)となり、  
 営業損失は74百万円  
 (前年同期は営業利益9百万円)

### ●その他の事業

発生土再生活用事業の工事出来高  
 の増等により、  
 営業収益は67億円  
 (前年同期比15億円増)、  
 営業費用は58億円  
 (前年同期比14億円増)となり、  
 営業利益は9億円  
 (前年同期比1億円増)

(注)関連事業の「その他の事業」には、休憩所等事業、駐車場事業、発生土再生活用事業等を含んでおります。

# 当期連結財務諸表の概要

単位：億円〔単位未満切捨て〕

連結貸借対照表			
区分	29年3月期	28年3月期	増減
総資産	2,200	2,419	▲ 219
流動資産	1,702	1,984	▲ 281
(うち仕掛道路資産)	1,014	1,278	▲ 263
固定資産	497	435	+62
総負債	1,816	2,089	▲ 273
流動負債	362	441	▲ 78
固定負債	1,453	1,648	▲ 194
純資産	384	330	+53
株主資本	450	419	+30
資本金	100	100	-
資本剰余金	100	100	-
利益剰余金	250	219	+30
その他の包括利益累計額	▲ 71	▲ 93	+21
非支配株主持分	5	4	1

連結損益計算書			
区分	29年3月期	28年3月期	増減
営業収益	2,496	2,568	▲ 72
営業費用	2,481	2,538	▲ 57
営業利益	15	30	▲ 14
営業外収益	2	3	▲ 1
営業外費用	0	0	▲ 0
経常利益	18	33	▲ 15
特別利益	0	0	▲ 0
特別損失	1	1	+0
税金等調整前当期純利益	16	32	▲ 16
法人税等	(注) ▲ 15	7	▲ 22
非支配株主に帰属する当期純利益	1	0	+0
親会社株主に帰属する当期純利益	30	24	+6

(注) 平成30年3月期の厚生年金基金代行返上益の発生に伴う繰延税金資産の計上による法人税等調整額▲20億円を含んでおります。

# 平成30年3月期 連結業績の見通し

単位:億円〔単位未満切捨て〕

区 分		30年3月期 見通し	29年3月期 実績	増減
営業 収益	高速道路事業	2,622	2,366	+255
	料金収入等	1,827	1,739	+87
	道路資産完成高	795	626	+168
	関連事業	93	133	▲40
		2,715	2,496	+219
営業 費用	高速道路事業	2,615	2,359	+255
	道路資産賃借料	1,402	1,302	+100
	道路資産完成原価	795	626	+168
	管理費用	417	430	▲13
	関連事業	85	124	▲39
		2,700	2,481	+219
営業 利益	高速道路事業	7	7	+0
	関連事業	7	8	▲0
		14	15	▲0
経常利益		11	18	▲6
特別利益	①	66	0	+66
税金等調整前当期純利益		77	16	+61
法人税等		24	▲15	+39
	うち厚生年金基金代行返上益に係る法人税等調整額	③	②	▲20
親会社株主に帰属する当期純利益		53	30	+22

## 連結業績の見通し

親会社株主に帰属する当期純利益は、親会社の利益47億円に連結子会社8社の利益等5億円を加えた53億円となる見通しです。

- ①平成29年5月の建設関係法人厚生年金基金の代行返上に伴い、平成30年3月期において、厚生年金基金代行返上益66億円を計上する見込です。
- ②厚生年金基金代行返上益の発生に伴う繰延税金資産の計上によるものです。
- ③上記②により計上した繰延税金資産の取崩によるものです。

(注) 平成30年3月期の業績見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

# 平成30年3月期 個別業績の見通し

単位:億円[単位未満切捨て]

区 分		30年3月期 見通し	29年3月期 実績	増減
営業 収益	高速道路事業	2,621	2,359	+262
	料金収入等	1,826	1,732	+93
	道路資産完成高	795	626	+168
	関連事業	61	87	▲ 25
		2,683	2,446	+237
営業 費用	高速道路事業	2,617	2,361	+256
	道路資産賃借料	1,402	1,302	+100
	道路資産完成原価	795	626	+168
	管理費用	420	433	▲ 12
	関連事業	59	83	▲ 23
		2,677	2,445	+232
営業 利益	高速道路事業	3	▲ 2	+6
	関連事業	2	3	▲ 1
		5	1	+4
経 常 利 益		2	4	▲ 1
特 別 利 益	①	66	-	+66
税引前当期純利益		69	3	+65
法 人 税 等		21	▲ 19	+41
うち厚生年金基金代行返上益 に係る法人税等調整額	③	20	② ▲ 20	+40
当 期 純 利 益		47	23	+24

## 個別業績の見通し

営業収益は、  
 2,683億円(前年実績比237億円増)  
 営業利益は、  
 5億円(前年実績比4億円増)  
 厚生年金基金代行返上益66億円等を加えた  
 当期純利益は、  
 47億円(前年実績比24億円増)  
 となる見通しです。

- ①平成29年5月の建設関係法人厚生年金基金の代行返上に伴い、平成30年3月期において、厚生年金基金代行返上益66億円を計上する見込です。
- ②厚生年金基金代行返上益の発生に伴う繰延税金資産の計上によるものです。
- ③上記②により計上した繰延税金資産の取崩によるものです。

(注) 平成30年3月期の業績見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

# グループ経営体制

(平成29年3月31日時点)



## 【交通管理】

阪神高速パトロール(株)

## 阪神高速道路(株)



## 【関連事業】

(休憩所・駐車場・集客施設運営等)

阪神高速サービス(株)

(用地取得に係るコンサルティング事業)

阪高プロジェクトサポート(株)

## 【保全点検・維持修繕】

阪神高速技術(株)

【調査・設計・積算等】

阪神高速技研(株)

はんしんどほくぎじゆつしじゆんしゃんはいゆうげんこうし  
阪申土木技術諮詢(上海)有限公司



内外構造(株)

(関連会社)

(株)情報技術  
(株)テクノ阪神  
(株)ハイウェイ管制  
阪神施設工業(株)  
阪神施設調査(株)

## 【料金收受】

阪神高速トール大阪(株)

阪神高速トール神戸(株)



# 主なトピックス

## 1. 新たな料金体系への移行(近畿圏の新たな高速道路料金)

\* これまで整備の経緯の違い等から料金水準や車種区分等が異なっていた近畿圏の高速道路（阪神高速（京都線除く）、第二京阪道路、西名阪道、近畿道、阪和道、京滋バイパス）の料金体系について、対距離制を基本とした利用重視の料金体系へ平成29年6月3日から移行。

### 新料金の概要

#### \* 対距離制を基本とした料金体系の整理・統一

- ・ 現行の高速自動車国道の大都市近郊区間の水準を基本とする対距離制を導入。
- ・ 車種区分を5車種区分に統一。

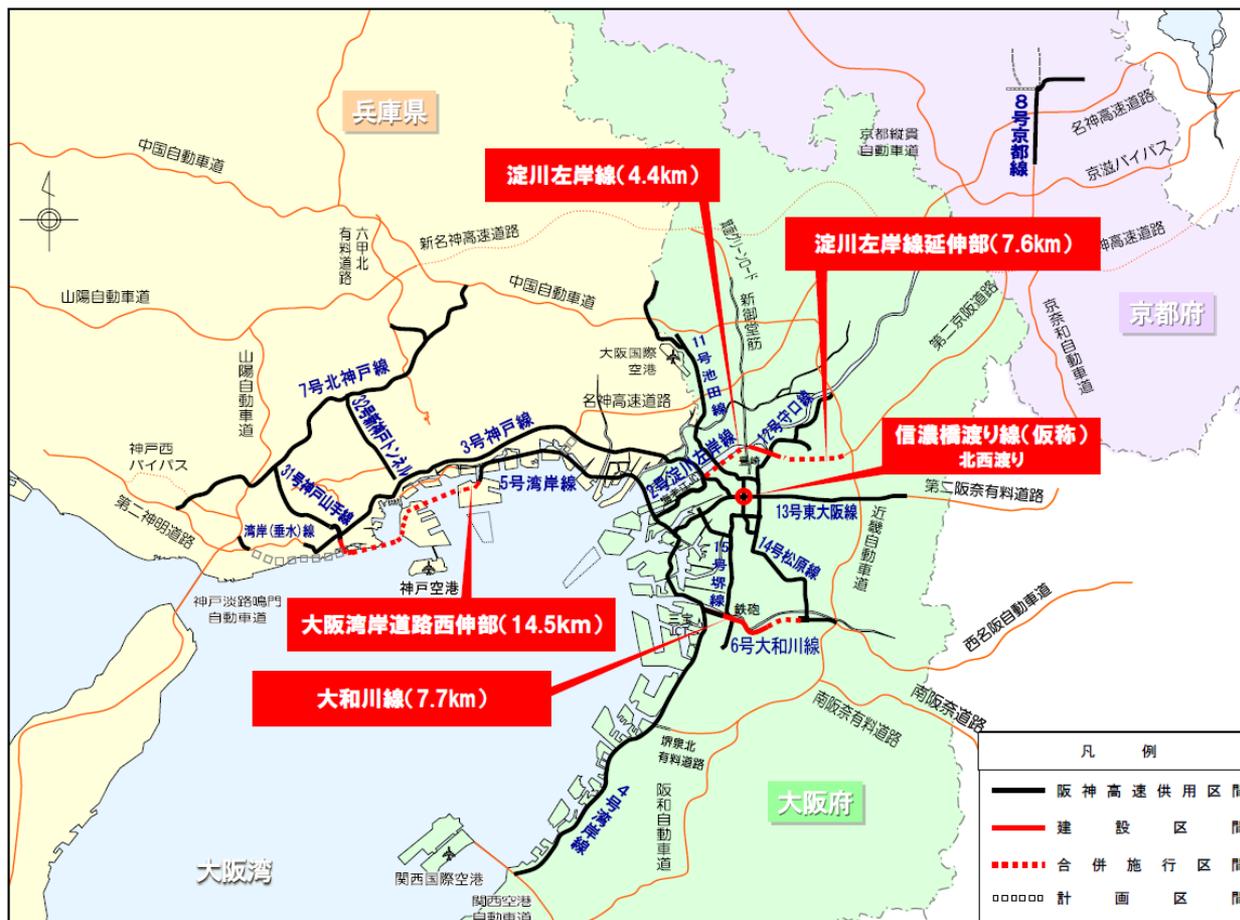
#### \* 管理主体の統一も含めた継ぎ目のない料金の実現

- ・ 京都線（油小路線及び斜久世橋）は平成31年4月にNEXCO西日本へ移管。
- ・ 大阪及び神戸都心部への流入に関して、ETC車について、経路によらず起終点間の最短距離を基本に料金を決定。

# 主なトピックス

## 2. ミッシングリンク解消に向けたネットワーク整備等

\* ミッシングリンクの解消に向け、大和川線（未供用区間）、信濃橋渡り線（仮称）をはじめ、平成29年3月に事業化された淀川左岸線延伸部、大阪湾岸道路西伸部の建設事業を推進いたします。（平成29年1月28日、大和川線（三宝JCT～鉄砲：1.4km）が開通いたしました。）



## 3. リニューアルプロジェクト(大規模更新・修繕事業)による長寿命化の推進

- \*リニューアルプロジェクト（大規模更新・修繕事業）により、構造物の全体的な取り替えや主要構造の全体的な補修を推進いたします。
- \*平成29年度は、大規模更新事業については、15号堺線湊町付近（なんば）及び3号神戸線湊川付近（神戸市長田区）の工事発注に向けた検討及び関係者との調整を推進いたします。大規模修繕事業については、鋼床版及びP C 桁の修繕のための工事を実施いたします。

区分	路線	対象箇所	延長	開通年	事業年度
大規模更新	橋梁全体の架替	3号神戸線 京橋付近	0.3km	S41	H33～40
		14号松原線 喜連瓜破付近	0.2km	S55	H32～38
	橋梁の基礎取替	15号堺線 湊町付近	(9基)	S47	H27～36
	橋梁の桁・床版取替	3号神戸線 湊川付近	0.4km	S43	H28～32
		11号池田線 大豊橋付近	0.3km	S42	H37～41
		13号東大阪線 法円坂付近	0.2km	S53	H39～41
	橋梁の床版取替	1号環状線 湊町～本町	0.6km	S39	H27～40
		11号池田線 福島～塚本	0.3km	S42	
		12号守口線 南森町～長柄	0.5km	S43	
		15号堺線 芦原～住之江	1.7km	S45	
	小計		5km	-	-
大規模修繕	4号湾岸線、11号池田線ほか		57km	-	H27～41
合計			62km	-	-

リニューアルプロジェクト（大規模更新・修繕事業）



# 主なトピックス

## 4. 関連事業の展開

- \* 阪神高速グループにおいてこれまで培ってきた技術・ノウハウを活用し、周辺の自動車専用道路等の一体的管理や、構造物点検、補修業務を受託しております。
- \* 高架下等の道路空間や保有する資産を有効に活用し、社会のニーズに応えるため、海外事業を含む技術・補償コンサルティング事業、駐車場事業、保有資産有効活用事業等を積極的に展開しました。

### 周辺の自動車専用道路等の一体的管理受託

- ・ 大阪港咲洲トンネル、夢咲トンネル（いずれも大阪市）、第二阪奈有料道路（大阪府道路公社、奈良県道路公社）の管理運営を受託。



大阪港咲洲・夢咲トンネル



第二阪奈有料道路

### 高速道路の維持管理等の技術・ノウハウを活かした事業展開

- ・ 兵庫県西宮土木事務所より、一般県道芦屋鳴尾浜線の道路3橋について、点検、補修業務を受託。
- ・ 道路や鉄道など公共インフラの用地取得支援業務を地方公共団体等から受託。

### 道路空間や保有する資産の有効活用

- ・ 駐車場事業：高架下等の約300箇所、月極め駐車場やコインパーキングを展開。
- ・ 保有資産有効活用事業：所有地の有効活用を図ることを目的に、賃貸住宅事業（豊中市、西宮市）や事業定期借地等を展開。

### 海外事業の展開

- ・ ケニアにおけるJICA技術協力プロジェクトに、コンサルタントチームの一員として参画。
- ・ 日本においてチュニジアの技術者に日本のODAで現地に建設されたPC箱桁橋の維持管理能力強化のための研修を実施。

◆本資料には将来の予測や見通しに関する記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績等を保証するものではありません。将来の業績等は経営環境の変化などにより、目標と異なる可能性があることにご留意下さい。

【お問い合わせ】



阪神高速道路株式会社 経理部財務課

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号

TEL: 06-6252-8121(代)

FAX: 06-6251-6930

URL: <http://www.hanshin-exp.co.jp>